

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

石川さんは、新美南吉の「空気ポンプ」を読み、心に残った場面を、読書集会でしようかいすることにしました。次は、【物語の一部】です。

【この場面までのあらすじ】

自転車のパンク直しをしてみたいと思っていた正九郎は、自転車屋の店主が来るときに、友だちの加平といっしょに店番をするチャンスをつかんだ。ふたりでお客さんが来るのを待っていたが、だれも来ず、たいくつしていた。

【物語の一部】

とうとう目的物はやってきた。それは洋服を着て皮のかばんを持ったどこかのおじさんであった。彼はパンクした自転車を日よけの下に立てておいて、汗をふきながら店に入ってきた。

「おい、坊！ 家の者いないか。」

おじさんは、ふたりを自転車屋の子とまちがえたのである。こいつはふたりにとってちようどよいのである。

「ンにや。ンでもおれたちだつて直せる。」と加平がいった。

なお よいことに、おじさんはくたびれていたと見え、ふたりに自転車をまかせたきり、上がりがまちにあおむけにねころんで目をとじてしまったのである。だれにも見られていない方が仕事はしやすいし、またそれだけ楽しめる。ひとりで食べる方がごちそうがうまいのと同じことである。

ふたりはわくわくして、パンク直しに取りかかった。まったくゆめのような気持ちだ。自転車を直したことの無い人には、とてもわからないだろう。タイヤをはずして、チューブに空気を入れて、赤ん坊のうでのようにやわらかくふくれたチューブを水にくぐらせて穴の場所をさがす。プクプクプクと小さいあわの出るところが見つかる。これだ！ よく切れる長いはさみで、つぎにあてるゴムをジョッキョキと切る。はじめはカードのように四角にきって、次に角をまるくする。それから人さし指をゴムのりの かんの中につっこんで、どろりとした よいにおいのするやつをつぎのゴムとチューブの穴のある個所にぬらぬらとぬる。ああ、こんな気持ちのよいことがまたとあるものではない！

※1 上がりがまちⅡげんかんにある、横にわたした木。「あがりかまち」とも言う。

※2 つぎⅡ穴の開いたところにつけて直すもの。

— 石川さんは、【物語の一部】の中の  の部分を音読したあと、この場面の魅力を【しょうかい】することになりました。

## 【しょうかい】



ぼくがこの場面をしょうかいしたいと思ったのは、パンク直しができることへの二人の①②が伝わってきたからです。

この場面では、パンクを直す手順がとてもくわしく書かれています。パンクを直したことがないぼくでも、どうやって直すのかが分かります。

くわしいだけではなく、表現も工夫しています。」②「気持ち」という表現は、「現実とは思えない」という意味を表しています。

また、「赤ん坊のうでのように」という表現は、赤ちゃんのうでをさわったことがなくても、チューブがとてもやわらかいということが自然に伝わってくると思います。思わず、さわってみたいと思わせる表現です。

さらに、「プクプクプク」「ジヨキジヨキ」「どろり」「ぬらぬら」という言葉は、

③を表現しています。読む人が本当にその場において、自転車のパンク直しを体験しているように感じられます。

(1) 【しょうかい】の中の①に当てはまる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア いかり      イ こうふん      ウ あきらめ      エ かなしみ

(2) 【しょうかい】の中の②に当てはまる内ようを、【物語の一部】の中から六文字でぬき出して書きましよう。

(3) 【しょうかい】の中の③に当てはまる内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 音や様子      イ 風景や行動      ウ 動きや気持ち      エ 場面やリズム

二 石川さんは、【物語の一部】の中の——線部「これだ！」という言葉に注目し、そのときの気持ちを考えてくわしく書くことにしました。次の【読書カード】の（ ① ）には五文字、（ ② ）には四文字の言葉がそれぞれ当てはまります。【物語の一部】の中からさがして書きましよう。

### 【読書カード】

正九郎はそのとき…

※ リムからタイヤをはずして、中に入っているチューブをひっぱり出した。ふう、ここまではうまくいった。

チューブに空気を入れてみた。ふくらんだチューブは、なんてやわらかいんだろう。

さあ、水にくぐらせてみよう。

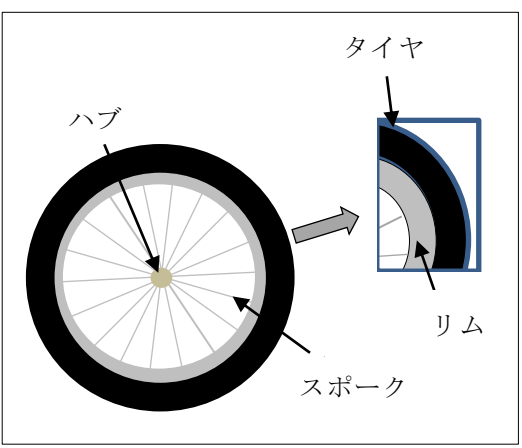
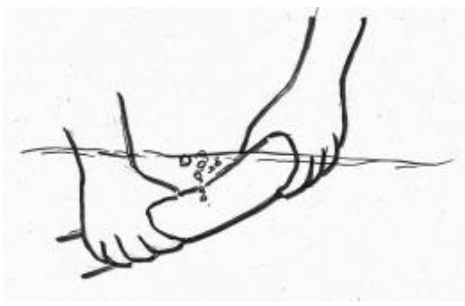
出た。（ ① ）が出てきた。

「これだ！」

ぼくは、（ ② ）をさがし当てたうれしさに、

思わずさげんだ。

※ リム…自転車の車輪しゃりんに使つかわれている金ぞくの部分のこと。



1 国語おう用カ強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

(1)

(2)


(3)

二

①


②


シート1

正答例<sup>れい</sup>

一 (1) イ

一 (2) ゆめのような

一 (3) ア

二 ① 小さいあわ

二 ② 穴の場所

## 8 国語おう用力強化シート

番 名前 ( )

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましよう。

田中さんの学級では、身の回りにある問題を取り上げて、学級新聞にまとめています。田中さんは、高れいドライバーについて調べたことを【ノート】にまとめました。次の【資料】と【ノート】を読んで、あとの問いに答えましよう。

【資料】(※1から7までは、だん落番号を表しています。)

1 最近「高れいドライバー」という言葉をよく耳にします。

愛媛県けい察本部のデータによると、この十年間で、県内の交通事こ全体の数はへつていますが、高れいドライバーによる事このわり合はふえているそうです。【表1】

2 愛媛県で運転めんきよを持つ人は、平成二十九年度で約九十三万人です。そのうち、六十五さい以上の高れいドライバーは約二十四万人です。つまり、全部のドライバーの四人に一人が、高れいドライバーだということです。

3 高れいドライバーには心配されていることがあります。それは、高れいになると、歩行者や対向車の発見がおくれたり、急なはんだんがむずかしくなったりして、大きな事こ、大きなけがにつながりやすいということです。

4 このような事こやけがをへらすため、高れいドライバーに、車に乗ることをやめてもらおうという動きが広がっています。しかし、せつかく持っている運転めんきよを返してくださいとは言いがらいいものです。そこで今は、自分から進んで返すという、自主返のうがすすめられています。

5 そうはいつても、ふだんの生活の足として、車を使って病院に行ったり、買い物に行ったりしている高れい者は、運転できなくなると、どこにも出かけられなくなつてまいます。

年	交通事こ 全体の数	高れいドライバーの 交通事この数	高れいドライバーの わり合
H28	4,497 件	1,311 件	29.2 %
H29	4,097 件	1,369 件	33.4 %

【表1】



- 6 自分で運転できなくなったことを不便に感じる高れい者を少しでもへらそうと、愛媛県内の各地いきでは、運転めんきよを自主返のうした人に、さまざまなサービスを行っています。例えば、ある地いきでは、タクシーの利用チケットをおくったり、路線バスに安く乗れるようにしたりしています。また、別の地いきでは、買ったものを家まで配達してくれるサービスも行われています。車で出かけられなくても、重い荷物をとどけてもらえらしたら、高れい者も助かります。
- 7 長い間続けてきた生活を変えるのは、なかなか大変です。運転めんきよを返したことで、高れい者が不便になったと感じるのではなく、反対に、返したことで、安心・安全な生活を手に入れたと考えることができるように、周りの人が協力してささえていかなくはなりません。

## 【ノート】

### 《ぎ問》

- 1 高れいドライバーの何が問題になっているのか。
- 2 なぜ、高れいドライバーは、運転めんきよを返すかどうかまよのか。

### 《ぎ問に対する答え》【資料】から分かったこと《

- 1 ア 愛媛県内の交通事こ全体の中で、高れいドライバーのわり合がふえていること。  
イ 高れいドライバーが起こす事こは、( ① ) こと。
- 2 運転めんきよを返して車の運転ができなくなると、ふだんの( ② ) がなくなってしまうから。

### 《運転めんきよを返のうした高れい者への取り組み》

各地いきが、さまざまなサービスをしている。

( 思い ) 運転できなくなったことを不便に感じる高れい者を少しでもへらしたい。

### 《大切なこと》

高れい者が運転めんきよを返したことで、安心・安全な生活を手に入れたと思えるように、周りの人が協力してささえる。

一 【ノート】の中の(①)に当てはまる内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 愛媛県内で百万人近くもいる

イ 事ご全体の数と同じで、へってきている

ウ 一年ごとに、ふえたりへつたりしている

エ 大きな事こやけがにつながりやすい

二 【ノート】の中の(②)に当てはまる内ようを【資料】から四文字でさがして書きましょう。

三 田中さんは、「不便」という言葉の意味を国語辞典で調べて、次のことに気づきました。次の(③)に当てはまる漢字二文字を書きましょう。

「不便」とは「便利ではないこと」と国語辞典に出ていました。「不」という漢字は、「くではない」という意味で使われているようです。

「不安」という言葉であれば、「(③)ではない」という意味になると思います。



四 田中さんは、【ノート】の中の□でかこんだ部分の内ようを中心に記事を書くことにしました。そこで、もう一度【資料】を読み返しました。□の内ようについてくわしく書いているだん落を、【資料】の□から□までのだん落の中から一つ選んで、そのだん落番号を書きましょう。





8

国語おうち用力強化シート かい答用紙

番号前（

）

一

二

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

三

<input type="text"/>
<input type="text"/>

四

シート8

正答例<sup>れい</sup>

一  
エ

二  
生活の足

三  
安心

四  
6

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

谷川さんたちは、総合的な学習の時間に自然とともに生きることについて調べて発表するために、学校の図書館で次の【文章】を見つけて読みました。

### 【文章】

「母なる森」とよばれる白神山地のブナ林では、ゆたかな自然かんきょうの中で、たくさん種類の生き物が生活しています。動物や植物、び生物など、すべての生き物にとって住みやすいかんきょうになっているのは、そこに住む生き物たちが、おたがいにもうまくバランスをとって生活しているからです。例えば、動物が食べる木の実や果物がブナ林にはほう富にありますが、動物たちは、それらの食べ物を全部食べてしまうことはしません。

この地いきに住む人たちも、そのことをよく知っているの  
で、山菜をとりに行っても、見つけたものを全部とるようなことはしません。例えば、山菜の一つであるゼンマイは、次の年にもとれるように、何本か残しておきます。マイタケも、一度とると、次の年は同じところではとりません。このように、ブナ林の自然のめぐみは大切に利用されています。



【ゼンマイ】

また、熱帯の森に住んで、動物や植物をとっている人たちも、同じような考え方で生活しています。例えば、大きなえ物がとれたときは、それを食べきるまで、かりには行きません。また、とった食べ物は、みんなで分け合い、むだにしないで全部利用します。

白神山地にしても、熱帯の森にしても、人間をふくめた、さまざまな生き物がつながっている自然の中では、ある生き物だけが急にふえたりへったりすると、おたがいのバランスがくずれることがあります。一度くずれたバランスは、なかなか元にはもどりません。そうならないように、自然とともに生きることが、わたしたち人間の生活を守るためにも大切なことなのです。

一 谷川さんは、発表するとき、【文章】の中の——線部「動物が食べる木の実や果物がブナ林にはほう富にあります」の中の「ほう富に」という言葉を分かりやすく言いかえることにしました。言いかえる言葉として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 少し      イ わずかに      ウ たくさん      エ ほどよく

二 谷川さんは、【文章】を読んで分かった内ようをまとめています。その内ようとして、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 白神山地には山菜がたくさんはえるので、この地いきに住む人たちは、山菜を全部とって食べている。

イ 熱帯の森にすむ人は、とった食べ物を食べ切ったり、みんなと分け合ったりして全部利用している。

ウ ある生き物だけが急にふえたとしても、自然の中でのおたがいのバランスがくずれることはない。

エ 自然のバランスを考えることも必要だが、人間の生活を守ることを一番に考えていくことが大切である。

三 谷川さんは、【文章】の内よう以外の例を学校の図書館でさがしたところ、次の文章を見つけました。そこで分かったことを発表しようと思っています。あとの【発表】の中の(①)、(②)に当てはまる言葉を、【文章】と【世界のくらし図かん】の中から、それぞれ四文字でさがして書きましょう。

### 【世界のくらし図かん】

## イヌイット

イヌイットは、カナダなどの地球で最も寒い地いきで生活を続けてきた。農作物がほとんど育たないきびしいかんきょうのため、アザラシやトナカイなどを求めて、グループで動しながら、雪で作った家やテントで生活する。

アザラシがとれば、肉は食料に、毛皮は服やくつに、油はねん料に、ほねは道具にするなど、むだにすることはいっさいしない。

しかし、最近のイヌイットは、都市の近くに住む人がふえてきた。スーパーで食料を買うこともある。



【イヌイット】

【発表】

食べ物になる農作物がほとんど育たないという、とても（①）自然の中で生きてきたイヌイットも、ほんたい反対に、白神山地のような（②）自然の中で生きる生き物たちやこの地いきに住む人たちも、熱帯の森に住む人たちも、みんな、自然のめぐみをむだにせず、大切に利用して、自然とともに生きていることが分かりました。



10

国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

①


②


ー  
ウ

ニ  
イ

三  
① きびしい

三  
② ゆたかな

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

【図書だより】を書きました。 図書委員の大村さんは、次のページの【生き物図かん】を取り上げて、左の【図書だより】を書きました。

## 図書だより (11月号)

今月の特集は、「あなたの知らない愛媛」が分かる本です。

愛媛県の「県の鳥」は、コマドリです。「コマドリって、どんな鳥?」、そう思ったあなたにぴったりな本は、図書館にたくさんそろっている図かんです。愛媛の生き物を知りたいときには、図書館にある『生き物図かん』を読んでみましょう。有名なコマドリはもちろん、あまり知られていないシロチドリについてもくわしくのっています。

### 【コマドリ】

#### どんな鳥か

- ・全長約14cm。
- ・体色は、赤茶色、はい色。
- ・鳴き声は、「ヒンカララ」「ヒンカラカラ」など。



#### どこにすんでいるか

- ・谷ぞいの林の中。
- ・愛媛県では、石鎚山から赤石山にかけて、大野ヶ原、鬼ヶ城山、滑床溪谷など。

#### どんな生活をしているか

- ・4月ごろ、外国から日本にわたって、11月ごろまでいる。
- ・県内では、標高の高い地いきで生活しているが、最近数がへっている。

### 【シロチドリ】

#### どんな鳥か

- ・全長約17cm。
- ・体色は、白色、茶色。
- ・鳴き声は、「プリュイ」「クピクピ」など。



#### どこにすんでいるか

- ・海岸や河口のすな地。
- ・愛媛県では、四国中央市、加茂川河口、高須海岸、重信川河口など。

#### どんな生活をしているか

- ・河原のすな地にたまごを産んで、子育てをする。
- ・数がへっていて、いなくなってしまう心配がある。





## 【 シロチドリ 】

シロチドリは、四国中央市、西条市さいじょうの加茂川河口、高須海岸、松山市まつやまと松前町まさきの重信川河口などに生息せいそくしている。チドリは本来わたり鳥だが、その仲間なかまのシロチドリの一部は、河口に一年中生息している。

シロチドリは、全長17cmほどで、歩くときは、すたすと小またの足早で、少し歩いてはぴたりと止まる動作どうさをくり返すかえ。鳴くときは、「プリユイ」、「プリユリ」、「クピクピ」などと鳴く。河原のすな地のくぼみにたまごを産み、子育てをする。たまごには、すなや小石と同じような模様もようがある。

シロチドリは、日本からいなくなってしまう心配が大きい「ぜつめつきぐ種しゅ」になっている。2014年時点で、県内のシロチドリの数は、30羽より少ないとも言われている。

シロチドリがへっている原いんとしては、①地面に産んだたまごがカラスなどにおそわれやすいこと、②すな地に草が生えてたまごを産む場所ばしょが少なくなっていることが挙げられる。また、③犬の散歩やすてられたごみによって生息地があらされることも、原いんの一つである。

一 「鳴」という漢字かんじのへんである「口」は、ここでは「なく」という意味を表しています。次の四つの漢字に共通して使われているへんが表している意味を考えて書きましよう。

海 油 波 洋

二 【図書だより】の中で大村さんが取り上げているコマドリとシロチドリの共通点として、最もふさわしいものを次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

- ア 体色と鳴き声
- イ すんでいるところ
- エ 数がへっていること
- ウ たまごを産む場所

三 大村さんは、【生き物図かん】の中の——線部①から③の、シロチドリの数がへっている三つの原いんを読んで、①、②の原いんと、③の原いんとは、ちがう点があることに気がつきました。どんなちがいがあるか、考えて書きましよう。

これよりあとは、時間がある人はやってみましょう。

※ 大村さんは、コマドリ以外に愛媛県を代表するものを調べて、【図書だより】にクイズとして出すことにしました。

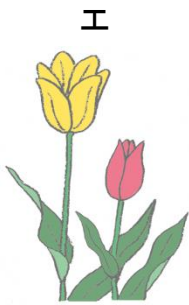
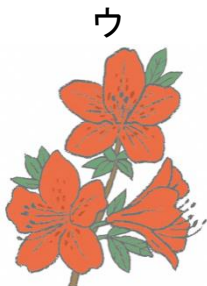
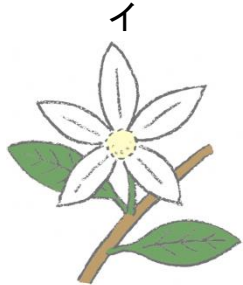
(1) 次の【クイズ】の答えを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

### 【クイズ】

愛媛県の花は、

次のアからエのうちどれでしょうか。

〈ヒント〉みきやんのしっぽの先に付いています。



(2) 次の【クイズ（上級編）】のA、B、Cの名前を、それぞれかたかなで書きましょう。

### 【クイズ（上級編）】

上級編だよ。次のA、B、Cは何だか分かるかな？

〈かたかなで〇文字〉がヒントだよ。

分からないときは、愛媛県をしようかいした本や

愛媛県のホームページで調べてみるといいよ。



A 愛媛県の木

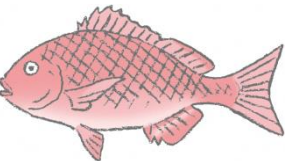
〈かたかなで二文字〉

B 愛媛県魚

〈かたかなで三文字〉

C 愛媛県の獣

〈かたかなで七文字〉





一例：水（えき、えき体、えきじょう）

二 エ

三 例：①、②は、自然が原いんで、③は、人が原いんであるというちがい。

※ (1) イ

(2) A マツ

B マダイ

C ニホンカワウソ



分からないときは  
先生に尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 ボランティア団体に加入する。
- 2 番組を録画する。
- 3 家庭菜園を楽しむ。
- 4 品種を改良する。
- 5 国家の富強に努める。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 国がさかえる。
- 2 きせつの変化を楽しむ。
- 3 ねんがの客が来る。
- 4 美しいけしきをながめる。
- 5 焼いた肉を野菜でつつむ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ 1 「加」は音読みだよ。
- 2 「録」は「録音」と同じ読みだよ。
- 3 「菜」は「野菜」と同じ読みだよ。
- 4 「品種改良」という言葉は社会科でも習うよ。
- 5 「豊富」は「ふ」と読むけど、「貧富」は「ふ」とは少しちがうよ。
- Ⅱ 1 「えいこう」「えいよう」の「えい」は「ちかえる」の音読みだよ。
- 2 「きせつ」の「き」は「気」ではないよ。「せつ」は「せつぶん」の「せつ」だよ。
- 3 「が」という字は「加」と「良」の組み合わせだよ。
- 4 「けしき」の「け」は、「ふうけい」の「けい」、「しき」の訓読みは「いる」だよ。
- 5 「小づつみ」や「つつみ紙」と同じ漢字だよ。



かなをいっしょ  
ていっしょに書こう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 愛着があるぬいぐるみ。
- 2 家の裏に倉庫がある。
- 3 各自でメモをとる。
- 4 有名人と名を連ねる。
- 5 具体的な事例を挙げる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 シカのむれが山に向かっている。
- 2 げんじゅうにかなりする。
- 3 次のしゅくじつに友達と会う。
- 4 かれにはんせいをうながす。
- 5 ご飯にはお茶をかかすことができない。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「着」は「着陸」と同じ読みだよ。 2 「倉」は「くら」と読んではいけないよ。  
 3 「各」は「各地」と同じ読みだよ。 4 「山が連なる」と同じ読みだよ。  
 5 「事」は「こと」と読んではいけないよ。
- 二 1 「山田くん」の「くん」と「ひつじ」という字の組み合わせだよ。  
 2 「かん」と同じ部分がある漢字は、「官」や「館」だよ。  
 3 「しゅく」は「いっしょ」という漢字だよ。  
 4 「せい」は「しよう」とも読み、たとえば「文部科学しよう」と使うよ。  
 5 「げんせき」の「げん」と同じ漢字だよ。



かながなとまは  
〈ヒント〉をみよう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 たん生日の記念に写真をとる。
- 2 茨の道を進む。
- 3 佐賀県の名産品を買う。
- 4 植物の生長を観察する。
- 5 手を挙げて発表する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 話し合いのぎだいを決める。
- 2 炭火で魚をやく。
- 3 友達の言葉をしんじる。
- 4 話のようてんをとらえて黒板に書く。
- 5 図書館で本をかりる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「記」は「記号」と、「念」は「信念」と同じ読みだよ。
- 2 関東地方にある「茨城県」と同じ読みだよ。
- 3 九州地方の県だよ。
- 4 夏休みに「アサガオの観察」をするよね。
- 5 「先生、あてて。」と思うことがあるよね。「上げる」と同じように読むよ。
- 二 1 「かいぎ」の「ぎ」、「だいめい」の「だい」と同じ漢字だよ。
- 2 火を使うので、部首は「ひくん」だよ。
- 3 部首は「にんべん」、つくりは「いう」という漢字だよ。
- 4 「よう」は大切という意味で、「ようやく」にも使われるよ。
- 5 部首は「にんべん」、つくりは「むかし」という漢字だよ。



分らないときも  
はたしきまよう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 なわとびの特訓をする。
- 2 昔の井戸を発見する。
- 3 五字以上、十字未満。
- 4 かばんに荷札をつける。
- 5 毎朝六時に目を覚ます。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

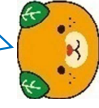
- 1 料理をこころみる。
- 2 人と自然のかんけい。
- 3 種からめが出る。
- 4 映画をみてわらう。
- 5 交差点をうせつする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「学校」は「がっこう」とつまって読むよね。
- 2 「いと」とは読まないよね。
- 3 「未」は下の言葉を打ち消すよ。完成していないことを「未完成」と言うね。
- 4 「荷」は「荷物」、「札」は「名札」と同じ読みだよ。
- 5 「ねむりから覚める」とも言うよ。
- 二 1 「こころみる」は訓読みだよ。音読みは「しけん」の「し」だよ。
- 2 「かん」の部首は「もんがまえ」、「けい」は「かかり」と同じ漢字だよ。
- 3 植物にかんけいするから、部首は「くさかんむり」だよ。
- 4 「竹」と「犬」を組み合わせてできた漢字だよ。ただし、どちらも形が変わるよ。
- 5 「うせつ」は「みぎに曲がること」だよ。





ねが**ん**ぼ**っ**てい**る**  
ねが**ん**ぼ**っ**てい**る**

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 体によい大豆を**食**べる。
- 2 **合**唱の大会に出る。
- 3 **貨**物列車で運ぶ。
- 4 会長を**投**票で決める。
- 5 **労**働時間が長い。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 金属を加工する**き**か**い**を**買**う。
- 2 長年の**き**ほ**う**を**か**な**え**る。
- 3 **けん**め**い**に**ど**り**よ**く**す**る。
- 4 才能に**と**む**人**。
- 5 **けん**ご**う**が**い**ち**ぼ**ん**大**切**だ**。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「豆」には、「まめ」、「とう」、「〇」といろいろな読みがあるよ。
- 2 「合」は「合体」、「唱」は「唱歌」と同じ読みだよ。
- 3 「貨物」の「貨」が使われているよ。「物」は「もの」と読まないでね。
- 4 「票」に「木」をつけると「標」となり、どちらも同じ音読みだよ。
- 5 「労」は「苦勞」と同じ読みだよ。
- 二 1 「き」も「かい」も「きくん」の漢字だよ。
- 2 「き」も「ほう」も、「のぞみ」という意味をもっているよ。
- 3 「ど」の訓読みは「つとめる」だよ。
- 4 「と(む)」は「富士山」の「ふ」という字だよ。
- 5 毎朝しているよね、「けんごう観察」。



かなをひらき  
へんごをきまろ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 協定を結ぶ。
- 2 赤みを帯びた色になる。
- 3 国語辞典で調べる。
- 4 めずらしいチヨウが飛来する。
- 5 日照時間が長くなる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 お米のはいきゆうがある。
- 2 さんか者をつのる。
- 3 地図でいちを調べる。
- 4 右か左かをえらぶ。
- 5 赤ちゃんが大きな声でなく。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「協」は「協力」と、「定」は「決定」と同じ読みだよ。
- 2 「帯」の訓読みと似た読みだよ。
- 3 「漢字辞典」もあるよ。「古典」の「典」と同じだね。
- 4 「飛行」、「未来」と同じ読みだよ。
- 5 「照」は「照明」と同じ読みだよ。
- 二 1 「はいたつ」の「はい」、「きゆうしよく」の「きゆう」と同じ漢字だよ。
- 2 「さんかんび」の「さん」と同じ漢字だよ。
- 3 「い」の訓読みは「くらい」、「ち」の訓読みは「おく」だよ。
- 4 「せん手」の「せん」と同じ漢字だよ。
- 5 「さんずい」と「たつ」の組み合わせだよ。



かなをいじまき  
へんごをいじまき

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 物事を客観的に見る。
- 2 極地に出かける。
- 3 曲芸をひろうする。
- 4 古くから伝わる食べ物。
- 5 大きな待をよせる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 田のちよつけいを求める。
- 2 信用をうしなう。
- 3 えひめ県に生まれる。
- 4 研究所のきようかんに学ぶ。
- 5 全員のせいとの前で話をする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「客」は「きやく」の読みが変化するよ。「観」は「観察」と同じ読みだよ。
- 2 「極」は「南極」と同じ読みだよ。
- 3 「作曲」、「園芸」と同じ読みだよ。
- 4 「伝わる」は「つ〇わる」と読むよ。
- 5 「待」は「自宅待機」と同じ読みだよ。
- 二 1 「ちよく線」の「ちよく」と同じ、「けい」は「きようにんぐにん」の漢字だよ。
- 2 「矢」と似ているから気をつけてね。
- 3 みきやんの生まれた県だよ。
- 4 「共感」とまちがわないでね。
- 5 中学校に通うのが「せいと」だよ。「と」は「きようにんぐん」に「は・しる」と書くよ。



袋をいじまき  
(い)と 煮まき。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 作家を副業とする。
- 2 初秋の風を感じる。
- 3 国を治める。
- 4 必ずお茶を飲む。
- 5 強固な考えをもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

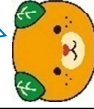
二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 日光をあびる。
- 2 読書をあいこうする。
- 3 ぶどうのたね。
- 4 たんしんで海外に行く。
- 5 鳥のすを見つける。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「副」と「福」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 2 「秋」は「あき」と読むではいけないよ。
- 3 「収める」、「修める」も同じ読みだよ。
- 4 「必ず」は「か〇〇ず」と読むよ。
- 5 「固」と「古」は同じ部分をもち、読みも同じだよ。
- 二 1 「さんずい」に「たに」を書くよ。
- 2 「あいこう」とは、「そのことをすきになり、親しむ」ことだよ。
- 3 「のぎくん」に「おもい」を書くよ。
- 4 「たんい」の「たん」、「しんちよう」の「しん」と同じ漢字だよ。「たんしん」は一人という意味だよ。
- 5 「すばこ」、「すだつ」も同じ漢字だよ。



おなまえを  
いってね。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 沖に出て漁をする。
- 2 実験を試みる。
- 3 勉強が順調に進む。
- 4 おしくも敗北した。
- 5 臣下に命じる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 くまでを使って落ち葉を集める。
- 2 体にゆうがいな食品てん加物。
- 3 計画がせいこうする。
- 4 案内状をいんさつする。
- 5 ていくうを飛ぶ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 九州にある「沖繩県」と同じ読みだよ。
- 2 「実」は「じつ」から読み方が変化するよ。つまる音になるよ。
- 3 「順番」、「体調」と同じ読みだよ。
- 4 「勝敗」の「敗」と同じ読みだよ。「北と七星」の「北」がにぎった音だよ。
- 5 「臣下」とは、「王などに仕える人」のことだよ。
- 二 1 「態」とまちがわないでね。
- 2 「ゆうがい」は「がいがある」という意味だよ。
- 3 「せいこう」の反対の意味の言葉は「失敗」だよ。
- 4 「いん」の訓読みは「しるし」、「きつ」の訓読みは「する」だよ。
- 5 「ていくう」とは、「地面に近いそら、ひくいそら」のことだよ。



かなりおぼ  
えたね!

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文の —— 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 いつも最前線で働く。
- 2 寒冷な土地で生育する。
- 3 高校球児をおうえんする。
- 4 司法試験を受ける。
- 5 強いチームと対戦する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の —— 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 人々のちゆうもくを浴びる。
- 2 かがみで自分の顔を見る。
- 3 しずかに耳をすめます。
- 4 ゆりの花のかおりがする。
- 5 買い物にべんりなかごをもつ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「前線」は「秋雨前線」などで使われるよ。
- 2 「寒気」、「冷ぞう庫」と同じ読みだよ。 3 「野球」、「児童」と同じ読みだよ。
- 4 「司」は「司会」と同じ読みだよ。 5 「戦」は「作戦」と同じ読みだよ。
- 二 1 視線をそぞがれること、人から見られることだよ。
- 2 「かがみ」は大昔、金属でできていたから、「かねくん」だよ。
- 3 「あお」と「あら(そう)」を組み合わせるよ。あらそうように波立っていた水が、あおくすみわたることを「しずか」というのかな。
- 4 「か川県」と同じ漢字だよ。
- 5 「べん」の部首は「にんべん」だよ。つくりの左はらいと右はらいは交差するよ。

漢字ふりかえりシート 11 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 かにゆう 2 ろくが 3 さいえん 4 かいりよう 5 ふぎよう  
二 1 栄 2 季節 3 年賀 4 景色 5 包

漢字ふりかえりシート 12 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 あいちやく 2 そうつこ 3 かくじ 4 つら 5 じれい  
二 1 群 2 管理 3 祝日 4 反省 5 欠

漢字ふりかえりシート 13 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 きねん 2 いばら 3 さが 4 かんぎつ 5 あ  
二 1 議題 2 焼 3 信 4 要点 5 借

漢字ふりかえりシート 14 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 とくくん 2 いと 3 みまん 4 にふだ 5 き  
二 1 試 2 関係 3 芽 4 笑 5 右折

漢字ふりかえりシート 15 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 だいず 2 がっしょう 3 かもち 4 どうひよう 5 ろうどう  
二 1 機械 2 希望 3 努力 4 富 5 健康

漢字ふりかえりシート 16 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 きょうてい 2 お 3 じてん 4 ひらい 5 にしやう  
二 1 配給 2 参加 3 位置 4 選 5 泣

漢字ふりかえりシート 17 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 きやかん 2 きよくち 3 きよくげい 4 つた 5 きたい  
二 1 直径 2 失 3 愛媛 4 教官 5 生徒

漢字ふりかえりシート 18 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 ふくぎやう 2 しょしゅう 3 おさ 4 かなら 5 きやうこ  
二 1 浴 2 愛好 3 種 4 单身 5 巢

漢字ふりかえりシート 19 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 おき 2 じっけん 3 じゅんちやう 4 はいぼく 5 しんか  
二 1 熊手 2 有害 3 成功 4 印刷 5 低空

漢字ふりかえりシート 20 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 さいぜんせん 2 かんれい 3 きゅうじ 4 しほう 5 たいせん  
二 1 注目 2 鏡 3 静 4 香 5 便利





かながらひきま  
へいへきま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 新しい工事に着手する。
- 2 休み時間は屋外で遊ぶ。
- 3 会長の仕事を委ねる。
- 4 都合をつけて出かける。
- 5 病院で投薬される。

1	
2	
3	
4	
5	

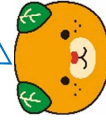
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 こん虫がうかがう様子を見る。
- 2 わく内に数字をきにゆうする。
- 3 鳥のけんきゆうをする。
- 4 雨にぬれたろめんが黒く光る。
- 5 ふえをふく少年の絵がある。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「着」は「着席」と同じ読みだよ。
- 2 「屋」は「屋上」と同じ読みだよ。
- 3 「委」は「○だ」(ねる)と読むよ。
- 4 「都」は「と」と読んではいけないよ。
- 5 「投」は「投手」と同じ読みだよ。
- 二 1 「うか」とは「昆虫が成虫になって、□が生えること」だよ。
- 2 「きこう」の「き」と「にゆうがく」の「にゆう」の組み合わせだよ。
- 3 「けん」の部首は「いしくん」、「きゆう」の部首は「あなかんむり」だよ。
- 4 「ろめん」とは「どうろ」の「ひょうめん」のことだよ。
- 5 「たけかんむり」と「りゆう」の「ゆう」の組み合わせだよ。



名前をいまして  
(い)と書いて。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 作物の生長は、天気に左右される。
- 2 走行時間を調べる。
- 3 食品の売買をする。
- 4 駅から学校までの時間を計る。
- 5 人事をつくして天命を待つ。

1	
2	
3	
4	
5	

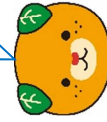
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 やくしやになるという夢をもつ。
- 2 相手にまさる強い気持ちがある。
- 3 したしい人に相談する。
- 4 紙のちゆうおうに円を書く。
- 5 力を合わせて大きな石をはくる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「左」は「左折」と同じ読み、「右」は「〇う」と読むよ。
- 2 「走」は「走者」や「助走」と、「行」は「行進」と同じ読みだよ。
- 3 「うりかい」ではないよ。「売」も「買」も同じ読みだよ。
- 4 「図る」や「測る」と同じ読みだよ。
- 5 「天」は「天気」と、「命」は「命令」と同じ読みだよ。
- 二 1 いろいろな「やく」をえんじる「もの」のことだよ。
- 2 気持ちの強さで相手に「か(つ)」んだね。
- 3 「おや」こそ「したしい」人かも。
- 4 「ちゆうおう」は、まんなかのことだよ。
- 5 「うんどう」の「うん」の訓読みだよ。



分かんないまま  
はたして書ける。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 小さな国の君主になる。
- 2 先生に教わったことを書く。
- 3 名目だけの役割。
- 4 めずらしい雲海を目にする。
- 5 顔色をうかがう。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 他の国のげんごを学ぶ。
- 2 給食とうぼんになる。
- 3 見えるのはひょうごんの一角だ。
- 4 ちがう学級の人とこうりゆうする。
- 5 ひとしく分ける。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「君」、「主」とともに音読みで読もう。 2 「おしえる」ではなくて「お○わる」だよ。  
 3 「目」を「め」と読んではだめだよ。  
 4 「くも」、「うみ」ではなくて、どちらも音読みをしてみよう。  
 5 どちらも、そのまま訓読みで読むといいよ。
- 二 1 「げん」も「ご」も言葉に関係している漢字だね。  
 2 「じゅんぼん」にその役目が「あたる」んだね。  
 3 「ひょうごん」は「こおり」の「やま」のことだよ。「こおり」は「水」が固まったものだから、漢字が似ているよ。  
 4 「こう」の訓読みは「まじる」、「りゆう」は「ながれる」ことだよ。  
 5 「ひとしく」分けると「ひょうどう」になるね。



名前をいしよま  
ていよ じよま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 みこしが大通りを練り歩く。
- 2 多才な人をしようかいする番組。
- 3 空調機能に優れている。
- 4 おもしろい文庫本を手に入れた。
- 5 朝礼で話をする。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 じどうでふたが開く。
- 2 急にしつないの温度が上がる。
- 3 遊びに行けないうちをたずねる。
- 4 私は友人へのじよりよくをおしまない。
- 5 来週のよていを立てる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 ねんどうを「練る」、案を「練る」と同じ読みだよ。
- 2 「多」を音読みしよう。「おおい」は訓読みだよ。
- 3 「空気が」、「調整」と同じ読みだよ。 4 「学級文庫」の「文庫」だよ。
- 5 「あさ」だと訓読み、「○よ○」だと音読み。人に会ったら「礼」をします。
- 二 1 「しぜん」に「うご」いてふたが開くんだね。
- 2 「きようしつ」の「しつ」と同じ漢字だよ。「ない」の漢字は「うち」とも読めるよ。
- 3 「りか」の「り」と「じゆう」の「ゆう」の組み合わせだよ。
- 4 「たすけたい」という思いが「ちから」になって出るんだね。
- 5 「よしゆう」や「みやく」の「よ」、「けつてい」や「あんてい」の「てい」を書きよ。



必ずおぼえて  
(ヒント) 真直して。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 『はやぶさ』打ち上げの秒読み段階に入る。
- 2 転んできずを負う。
- 3 作者の意図を考える。
- 4 漢字の画数を数える。
- 5 休みを返上する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 各自が自由にさらに取って食べる。
- 2 しょうそくがとだえる。
- 3 列をとどのえて歩く。
- 4 道ばたに落ちているゴミをひらう。
- 5 まいとし実がなる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「秒」は「三秒ルール」と同じ読みだよ。
- 2 「荷物を背負う」にも「負う」が使われているよ。
- 3 「図」は「ず」と読んではいけないよ。
- 4 「画」は「一画目、二画目」と使うよ。
- 5 「返」は「返事」や「返品」と同じ読みだよ。
- 二 1 「血」と似ているよ。
- 2 「しょう」は「きえる」、「そく」は「いき」と同じ漢字だよ。
- 3 「せいれつ」の「せい」と同じ漢字だよ。
- 4 「捨」と書いたら「すてる」になるから注意。
- 5 「まい」は「まいにち」の「まい」と同じだから、「母」と書かないように。



正しく覚えようね！

分からないときは  
(ヒント) を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 童心に返って遊ぶ。
- 2 命令に反発する。
- 3 答えが全く分からない。
- 4 有名な詩集を買う。
- 5 しばらく雨宿りをする。

1	
2	
3	
4	
5	

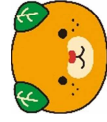
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 ちまなこになってさがす。
- 2 わらう門にはふく来る。
- 3 何事にも一長いったんがある。
- 4 のうぎように力を入れる。
- 5 ようもうが原料になっている。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「童話」の「童」と同じ読みだよ。
- 2 「発」は「はつ」とは少しちがう音だよ。「出發」も同じだよ。
- 3 「全然」という言葉を「〇つたく」と言いかえることもあるよ。
- 4 「詩」を「集め」たものが「詩集」だよ。
- 5 「雨」は「あ〇」と音を変えるよ。「雨がっぱ」も同じ読みだよ。
- 二 1 「皿」とまちがわないように。
- 2 「ころふく」の「ふく」だよ。
- 3 「たん」は「長」と反対の意味の漢字を書くよ。「長所」と「たん所」とも言うよ。
- 4 「ぎよう」は「ぎぎよう」や「じゆぎよう」の「ぎよう」と同じだよ。
- 5 「ようもう」とは、「ひつじ」の「け」のことだよ。



がんばって  
い  
ね!

かなひら  
まじり  
を  
ま

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでい  
ねいに書きましょう。

- 1 なわとびの練習をする。
- 2 新緑が目に入る。
- 3 気に入った洋服を着る。
- 4 終始笑顔で会話をする。
- 5 代打で出場する。

1	
2	
3	
4	
5	

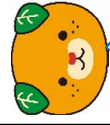
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きま  
しょう。

- 1 南極大陸にあるしょうわ基地。
- 2 きんじよに広い公園がある。
- 3 急なさかみちを上る。
- 4 しかいに治りようしてもららう。
- 5 ペンをふでばこにしまらう。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 教科書や問題集には、「練習問題」があるよ。
- 2 「緑」は「みどり」と読まずに、音読みで「〇よ〇」と読むよ。
- 3 着る物を売っている所を「洋服売り場」と表すよ。
- 4 「一日中」のことを「終日」と言うよ。
- 5 「交代」は「こうたい」だけど、「代打」は「たい」とは少しちがうよ。
- 二 1 「しょう」は、「照」とにている漢字で、「わ」は「くいわ」の「わ」だよ。
- 2 「ちかいところ」だよ。それぞれの字を音読みしているよ。
- 3 「さか」は「つちくん」だよ。
- 4 「しかい」は「は」を治すいしやだよ。
- 5 「ふで」は「えんぴつ」の「ひつ」と同じ漢字だよ。「はこ」という漢字は、「たけ」「き」「め」の組み合わせだよ。



かなひきま  
ひょうをきま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

1 食<sup>く</sup>放<sup>は</sup>題<sup>だい</sup>の店に行く。

1

2 船が三か月ぶりに帰<sup>かえ</sup>港<sup>こう</sup>する。

2

3 とうふを二<sup>に</sup>丁<sup>ぢょう</sup>買<sup>か</sup>う。

3

4 漢字の部<sup>ぶ</sup>首<sup>しゅ</sup>を辞<sup>じ</sup>書<sup>しょ</sup>で調<sup>しら</sup>べる。

4

5 川の流<sup>なが</sup>れが速<sup>はや</sup>い。

5

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

1 すいぞく<sup>すいぞく</sup>かん<sup>かん</sup>に行く。

1

2 川のむこう<sup>むこう</sup>側<sup>がわ</sup>に家がある。

2

3 いんしゆ<sup>いんしゆ</sup>運<sup>うん</sup>転<sup>てん</sup>を取りしまる。

3

4 銀行のつうちよう<sup>つうちよう</sup>を持つている。

4

5 自<sup>じ</sup>転<sup>てん</sup>車<sup>しゃ</sup>にの<sup>の</sup>る。

5

### <ヒント>

一 1 「放」は「ほお」ではないから気をつけてね。

2 「帰」、「港」ともに音読みをするよ。

3 住所で使われる「二丁目」「二丁目」と同じ読みだよ。

4 「音」は「くび」ではないよ。短歌を教えるときに、「一音」「二音」と使うよ。

5 「早い」も同じ読みだよ。

二 1 「かぞく」の「ぞく」、「としよかん」の「かん」を使うよ。

2 「右をむく」という場合に使う漢字だよ。

3 「いんしゆ」とは、「さけ」を「のむ」ことだよ。

4 「つう」は「つうしる」という漢字だよ。「ちよう」は、「巾」に「長」という字を組み合わせてできるよ。

5 漢字を書くときに、三つの横画の長さに気をつけよう。





どんどん進んで  
ね！

かなひらきまは  
へんをきまは。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

1 わが市には寺社が多い。

2 黄金にかがやく。

3 根気よく本を読む。

4 ちょうど死角になる場所がある。

5 外国で見聞を広げたい。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

1 新たな地区にしんしゅつする。

2 前を走っている人をおいかける。

3 なみまにただようこぶね小舟が見える。

4 三のばいすうを答える。

5 ていねいな字でノートにうつす。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「寺」は「てら」と読まないよ。
- 2 この場合は「こがね」ではないよ。
- 3 ずっと続けられることを「根気がある」と言うよ。
- 4 「死」は「必死」と同じ読みだよ。「角」は「かど」とは読まないよ。
- 5 「見聞は一見にしかず」ということわざと同じ読みが使われているよ。
- 二 1 「すすん」で「で」ていくことだよ。
- 2 「ついか」、「ついはら」の「つい」と同じ漢字だよ。
- 3 「なみ」の「あいだ」のことを「なみま」と言うよ。
- 4 「ばい」は「にんべん」だよ。
- 5 「移す」、「映す」とまちがえないようにね。



かなをひらかなで  
漢字をひらかなで

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 細かい分担<sup>たん</sup>を決めておく。
- 2 一年前に上京<sup>じやう</sup>した友達<sup>ともだち</sup>と会う。
- 3 深海<sup>しんかい</sup>の生物<sup>せいぶつ</sup>のなぞを探<sup>さが</sup>る。
- 4 先生<sup>せんせい</sup>に暑中見<sup>なつなか</sup>まいのはがきを送<sup>おく</sup>る。
- 5 世界<sup>せかい</sup>の広さを知<sup>し</sup>る。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 あんごう<sup>あんごう</sup>を解<sup>かい</sup>読<sup>どく</sup>する。
- 2 さいじつ<sup>さいじつ</sup>に兄<sup>あに</sup>と出<sup>で</sup>かける。
- 3 こうそく<sup>こうそく</sup>道路<sup>だうろ</sup>を車<sup>くるま</sup>で走<sup>は</sup>る。
- 4 姉<sup>あね</sup>のはつそら<sup>はつそら</sup>力<sup>ちから</sup>にはおどろかされ<sup>おどろかされる</sup>る。
- 5 家で二時間<sup>にじじかん</sup>べんき<sup>べんき</sup>ようする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 送りがなが「かい」だから、「ほそい」ではないよ。
- 2 「上」は「うえ」ではないよ。 3 「深」も「海」も音読みだよ。
- 4 夏の終わりや秋の初めになってもまだ暑いことを「残暑」と言うよ。
- 5 「世」は「よ」や「せい」ではない読み方をするよ。
- 二 1 「あん」は「明」と反対の漢字だよ。「ごう」は「きごう」と同じだよ。
- 2 「さい」は「まつり」という漢字を書くよ。
- 3 「こうそく」の反対は「低そく」だよ。「そく」は「はやさ」のことだよ。
- 4 「はつ」は「はつ秦」「はつ見」と同じだよ。「そら」は「感そら」と同じだよ。
- 5 「べん」の漢字には「力」が使われているよ。

漢字ふりかえりシート1 (漢字・小二) 正答例

- 一 1 ちやくしゆ 2 おくがい 3 ゆだ 4 びろう 5 どうやく  
二 1 羽化 2 記入 3 研究 4 路面 5 笛

漢字ふりかえりシート2 (漢字・小二) 正答例

- 一 1 さゆう 2 そうこう 3 ばいばい 4 はか 5 てんめい  
二 1 役者 2 勝 3 親 4 中央 5 運

漢字ふりかえりシート3 (漢字・小二) 正答例

- 一 1 くんしゆ 2 おそ 3 めいもく 4 うんかい 5 かおいろ  
二 1 言語 2 当番 3 氷山 4 交流 5 等

漢字ふりかえりシート4 (漢字・小二) 正答例

- 一 1 ね 2 たぎい 3 くうちょう 4 ぶんこ 5 ちょうれい  
二 1 自動 2 室内 3 理由 4 助力 5 予定

漢字ふりかえりシート5 (漢字・小二) 正答例

- 一 1 びょうよ 2 お 3 いと 4 かくすう 5 へんじょう  
二 1 皿 2 消息 3 整 4 拾 5 毎年

漢字ふりがえりシート6 (漢字・小三) 正答例

一 1 どうしん 2 はんぱつ 3 まった 4 ししゅう 5 あまぎど  
二 1 血 2 福 3 一短 4 農業 5 羊毛

漢字ふりがえりシート7 (漢字・小三) 正答例

一 1 れんしゅう 2 しんりよく 3 ようふく 4 しゅうし 5 だいだ  
二 1 昭和 2 近所 3 坂道 4 歯科医 5 筆箱

漢字ふりがえりシート8 (漢字・小三) 正答例

一 1 ほうだい 2 きこう 3 にちよう 4 ぶしゅ 5 はや  
二 1 水族館 2 向 3 飲酒 4 通帳 5 乗

漢字ふりがえりシート9 (漢字・小三) 正答例

一 1 じしゃ 2 おうごん 3 こんき 4 しかく 5 けんぶん  
二 1 進出 2 追 3 波間 4 倍数 5 写

漢字ふりがえりシート10 (漢字・小三) 正答例

一 1 こま 2 じょうぎよう 3 しんかい 4 しよちゅう 5 せかい  
二 1 暗号 2 祭日 3 高速 4 発想 5 勉強



おなまはなまは  
いへんをきまう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

- 1 仲間と山登りに行く。
- 2 沖縄の海は美しい。
- 3 天然の魚を食べる。
- 4 円柱の底面は円である。
- 5 無灯火で走るとあぶない。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きなさい。

- 1 しかにせんべいをあげる。
- 2 るいは友をよぶ。
- 3 歩く速さをきそらう。
- 4 心地よいねいろ。
- 5 りくじようで生きる動物。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「仲」は「仲よし」、「間」は「つかの間」と同じ読みだよ。
- 2 「縄」は「なわ」と読むよ。
- 3 「然」は「ぜん」と読んではいけないよ。
- 4 「底」は「そこ」と読んではいけないよ。
- 5 「灯」は「灯油」や「電灯」の「灯」と同じ読みだよ。
- 二 1 「かき島県」と同じ漢字だよ。
- 2 「るい」の左側は「米」と「天」だよ。
- 3 「きそ(ら)」という漢字の左側と右側はにているけど、はね方がちがうよ。
- 4 おともいるがあるんだね。
- 5 「りくじよう」は「りくのうえ」のことだよ。



分からないうちは  
〈ヒント〉を真まろ。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで  
いねいに書きなさい。

- 1 進んで挙手する。
- 2 漁港に立ちよる。
- 3 牛が牧草を食べる。
- 4 自分の子孫にも伝える。
- 5 作品が未完のままになる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに  
書きなさい。

- 1 係がごうれいをかける。
- 2 虫とりにねつちゆうする。
- 3 さくや見たゆめ。
- 4 とくぎな日の料理を食べる。
- 5 かいていでほうせきが見つかる。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「挙手」は「手を挙げること」だよ。  
 2 「漁」は「漁船」と同じ読みだよ。  
 3 「牧」も「草」も音読みだよ。「牧」は「牧場」と同じ読みだよ。  
 4 「先祖」と反対の言葉だよ。  
 5 「未完」は「まだ完成していないこと」。音だけ聞くと、くだものとまちがえそうだね。
- 二 1 「きごう」の「ごう」、「めいれい」の「れい」と同じ漢字だよ。  
 2 「ねつ」の部首は「冫 (れんが・れつか)」だよ。  
 3 「さくや」は「きのうのよる」のことだよ。「きのう」の漢字は「さくじつ」とも読むよ。  
 4 「とくぎ」の「とく」に「くぎつ」の「ぎつ」だよ。  
 5 「かいてい」は「うみのそこ」のことだよ。



ひらがなを  
ふりがなで

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

- 1 ひもを束ねる。
- 2 器量よしと言われる。
- 3 側道をゆつくり走る。
- 4 病に苦しむ人の手助けをしたい。
- 5 課題を解決する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きなさい。

- 1 あさくこしかける。
- 2 目指す順位にたつする。
- 3 荷物をつみ上げる。
- 4 毎年うめの実がなる。
- 5 元気な声が聞けることをねがう。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「束」は「た〇」と読むよ。花を束ねたものが「花束」だよ。
- 2 「器」は「楽器」と、「量」は「計量カップ」と同じ読みだよ。
- 3 「側」は「側面」と同じ読みだよ。
- 4 「病」は「気から」ということわざがあるね。
- 5 「課」は「放課後」と、「題」は「問題」と同じ読みだよ。
- 二 1 「あさ(い)」の反対は「深い」。つくりは「残」と同じだよ。
- 2 「ともだち」の「たち」と同じだよ。
- 3 算数で図形の「めんせき」を求めるよね。
- 4 「きくん」に「まいにち」の「まい」だよ。
- 5 「のはら」の「はら」に「おおがい」だよ。「おおがい」は、その形から「いちのかい」とも言うよ。



かなはなとまき  
（ヒント）をもうご。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで  
いねいに書きなさい。

- 1 いらないデータを消去する。
- 2 節電にはげむ。
- 3 争点をはつきりさせる。
- 4 勇ましいかけ声が聞こえる。
- 5 おかしの原料を調べる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい  
に書きなさい。

- 1 みんぞくによつて文化がちがう。
- 2 じようか町として栄えた。
- 3 食生活に関するひようごを作る。
- 4 人手がふそくする。
- 5 みんなの意見をしゅうやくする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 データを消すときには「消去ボタン」をおすよ。  
 2 「節」は、お金や水の「節約」と同じ読みだよ。  
 3 「争」は「競争」と同じ読みだよ。  
 4 何もかもおそれない様子を「○ましい」と言うよ。  
 5 「原」は「草原」と、「料」は「料理」と同じ読みだよ。
- 二 1 「ぞく」は「かぞく」と同じだよ。  
 2 おしろうのしたと書くよ。  
 3 「ひよう」は「きくん」に「どうひよう」の「ひよう」だよ。  
 4 「ふ」は「ふしぎ」の「ふ」、「そく」は「あし」を書くよ。「たりない」というんだよ。  
 5 「しゅうやく」とは「あつめて一つにまとめる」とだよ。





分かるよまほ  
〈ヒント〉を覗きま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで  
いねいに書きなさい。

1 柄の実を捨すつ。

2 清らかな歌声に心がああらわれる。

3 悲運ひいんが続く。

4 練習の成なり果を出し切る。

5 博物館はくぶくわんで説明を聞く。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい  
に書きなさい。

1 高級なしよしよくざいを使った料理。

2 えいえいごで書かれた新聞を毎日読む。

3 むかむかしながらの家並み。

4 そつえんそつえん式に出席する。

5 力のある選手がぞくぞくしゅつする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

一 1 「どちら木果」と同じ漢字だよ。

2 水や心がすんでいる様子を「き〇らかだ」と言うよ。

3 「悲」は「悲げき」と「運」は「運命」と同じ読みだよ。

4 「成」は「成功」と「果」は「結果」と同じ読みだよ。

5 愛媛県にも科学博物館や歴史文化博物館があるね。

二 1 「しよくざい」は「たたぐる」ものを作る「ぞいりよう」のことだよ。

2 「えい」は「くさかんむり」に「ちゅうおおう」の「おおう」だよ。

3 「かかりる」という字の右側だよ。

4 「そつえん」は「ようちえん」などを「そつぎぎよう」することだよ。

5 「ぞくしゅつ」は「次から次へとつづいてででてくること」だよ。

ていねいに書け  
たかな。



おなまえ  
をいって

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 野菜の産地にこだわる。

2 あらしの前兆。

3 洋梨入りのケーキを食べる。

4 工夫して作業をする。

5 石油を使って作る。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きなさい。

1 家族をやしなう。

2 力をぶんぜんさせる。

3 日本とハワイのじちを考える。

4 こうきようの建物。

5 てつきようをわたる電車。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

一 1 「愛媛産」のみかんは最高だよ。

2 前ぶれのこと。「兆」は数の単位と同じ読みだよ。

3 「山なし県」と同じ漢字だよ。

4 「夫」は「おつと」とは読まないよ。

5 「石油ストーブ」は温かいね。「産石」の「石」と同じ読みだよ。

二 1 「やしなう」は「えいよう」の「よう」だよ。

2 「ぶん」は「わ(ける)」、「ぜん」は「ち(る)」という字だよ。

3 「じち」は「じかん」の「ち」のよだよ。

4 「こう」は「く」に「ム」、「きよう」は「きようけい」の「きよう」だよ。

5 「てつきよう」は「てつのはし」のよだよ。



分からないうちは、  
ヒントをもらおう。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで  
いねいに書きなさい。

1 いつまでも無言でいる。

2 天候を気にかける。

3 しだいに語気があらくなる。

4 ペリーが開国を要求する。

5 庭で友人と談笑する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい  
に書きなさい。

1 ちやくせきの合図を待つ。

2 くらくを共にする。

3 農家からちやくそうされた作物。

4 同じしゆるいに分ける。

5 えんぼうから客が来る。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「言」は「げん」と読んではいけないよ。  
 2 「候」は「気候」と同じ読みだよ。  
 3 言葉の調子のこと。どちらも音読みだよ。  
 4 こうしてほしいと相手に求めること。「必要」、「要望」の「要」と同じ読みだよ。  
 5 「談」は「相談」と、「笑」は「ばく笑」と同じ読みだよ。
- 二 1 「ちやくせき」は「せきにつくこと」だよ。  
 2 「くる(しい)」ことも「たの(しい)」こともという意味だよ。  
 3 「ちやくそう」は「ちやくせつおくること」だよ。  
 4 「しゆ」の部首は「のぎくん」、「るい」の部首は「おおがい」だよ。  
 5 「えんぼう」は「とおくのぼう」という意味だよ。



かなひらきま  
く(ヒント) 書きま。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで  
いねいに書きなさい。

- 1 商店街がにぎわいを見せる。
- 2 思想のちがいを学ぶ。
- 3 今年も残暑がきびしい。
- 4 家来を連れて歩く。
- 5 辞書を持ち歩く。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねい  
に書きなさい。

- 1 とくさん品として売り出す。
- 2 近日こうかいする予定だ。
- 3 短時間でしょうはいがつく。
- 4 くつのひもをむすぶ。
- 5 広大なむぎばたけを所有する。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 「街」は「街灯」と同じ読みだよ。
- 2 「思」は「思考」と、「想」は「感想」と同じ読みだよ。
- 3 みきやんも「暑中見まい」や「残暑見まい」を書いたよ。
- 4 「家」は「か」と読んではいけないよ。
- 5 「辞」は言葉のこと。「国語辞典」の「辞」と同じ読みだよ。
- 二 1 「とくさん」は「その土地でとれるとくぐつにすぐれたさんぶつ」のことだよ。
- 2 「こう園」の「こう」、「かい放」の「かい」を組み合わせるよ。
- 3 「しょう」は「かつ」、「はい」は「やぶれる」こと。反対の意味の漢字を合わせるよ。
- 4 「むすぶ」は「けつか」の「けつ」だよ。
- 5 「むぎ」の上の部分は「毒」と同じだよ。



かなをいじまき  
へんごをまきま。

第 学 年 組 番 名 前

Ⅰ 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

- 1 得意な暗算をする。
- 2 新しいおかしを考案する。
- 3 お正月に門松をかざる。
- 4 細心の注意をはらう。
- 5 日本各地の民話を集める。

1	
2	
3	
4	
5	

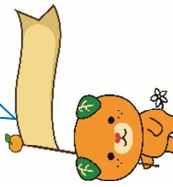
Ⅱ 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きなさい。

- 1 ようふうの食べ物。
- 2 化学けんかを起こす。
- 3 どうぞをすばやくする。
- 4 あくいのある言葉に負けない。
- 5 車のにだいに積む。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ 1 「算数」の「算」がにじつた音になるよ。反対の意味の言葉は「筆算」だよ。
- 2 「考」も「案」も音読みだよ。
- 3 「〇どま〇」と読むよ。
- 4 「細」は「細かい」を音読みするよ。「心」も音読みしよう。
- 5 「国民」の「民」と同じ読みだよ。
- Ⅱ 1 「よう」は「たいくいよう」の「よう」、「ふう」は「かぜ」だよ。
- 2 「けん」は「かわる」、「か」は「はける」という漢字だよ。
- 3 「どう」は「うく」、「ぞ」は「つくる」という漢字だよ。
- 4 「あくい」は「わるい気持ち」のことだよ。
- 5 「にもつをのせるだい」のことだよ。



かなひらきまは  
〈ヒント〉を真まろ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の 1 から 5 までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

1 土手<sup>そ</sup>沿いを走つていて横転する。

2 究極の目的を発表する。

3 わたしにも意地がある。

4 全国<sup>ゆうしょう</sup>優勝という念願をかなえる。

5 夕日を見ながら岸边を歩く。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文中の——線部のひらがなを漢字に直し、ていねいに書きなさい。

1 駅のかい<sup>そつ</sup>口で待ち合わせる。

2 ずじょうに注意する。

3 かんこう客の行列ができる。

4 今年はせきせつ量が少ない。

5 いくじの大変さを美感する。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

一 1 「横断」の「横」、「運転」の「転」と同じ読みだよ。

2 「研究」の「究」、「南極」の「極」と同じ読みだよ。

3 「地」は「ち」と書いてはいけないよ。

4 「常にながらう」ことだよ。「念」は「記念」と同じ読みだよ。

5 「辺」の訓読みには「あた(り)」と「く」があるよ。

二 1 「かい」は「あらた(める)」、「そつ」は「札」としているけど、部首は「きくん」だよ。

2 「ずじょう」は「あたまのうえ」のことだよ。

3 「かん」の右側は「見」、「こう」は「ひかり」という字だよ。

4 「せき」は「つ(もる)」、「せつ」は「ゆき」だよ。

5 「いく」は「ぞだ(てる)」こと。「じ」は「じどうの会」の「じ」を書くよ。

漢字ふりかえりシート 21 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 なかま 2 おきなわ 3 てんねん 4 ていめん 5 おとうか  
二 1 鹿 2 類 3 競 4 音色 5 陸上

漢字ふりかえりシート 22 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 きよしゆ 2 ぎよう 3 ぼくそう 4 しそん 5 みかん  
二 1 号令 2 熱中 3 昨夜 4 特別 5 海底

漢字ふりかえりシート 23 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 たば 2 きりよう 3 そくどう 4 やまい 5 かだい  
二 1 浅 2 達 3 積 4 梅 5 願

漢字ふりかえりシート 24 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 しょうきよ 2 せつでん 3 そうてん 4 いさ 5 げんりよう  
二 1 民族 2 城下 3 標語 4 不足 5 集約

漢字ふりかえりシート 25 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 とち 2 きよ 3 ひうん 4 せいか 5 はくぶつかん  
二 1 食材 2 英語 3 昔 4 卒園 5 続出

漢字ふりかえりシート 26 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 さんち 2 ぜんちよう 3 ようなし 4 くふう 5 せきゆ  
二 1 養 2 分散 3 時差 4 公共 5 鉄橋

漢字ふりかえりシート 27 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 おごん 2 てんこう 3 こぎ 4 ようきゆう 5 だんしよう  
二 1 着席 2 苦楽 3 直送 4 種類 5 遠方

漢字ふりかえりシート 28 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 しょうてんがい 2 しそう 3 ぎんしよ 4 けらい 5 じしよ  
二 1 特産 2 公開 3 勝敗 4 結 5 麦畑

漢字ふりかえりシート 29 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 あんぎん 2 こうあん 3 かどまつ 4 さいしん 5 みんな  
二 1 洋風 2 変化 3 動作 4 悪意 5 荷台

漢字ふりかえりシート 30 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 おうてん 2 きゆうきよく 3 いじ 4 ねんがん 5 きじく  
二 1 改札 2 頭上 3 観光 4 積雪 5 育児